



<VOL164.2021.8>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-7-18 ラ・パルメイ中央 1階 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

今月の聖句 マタイによる福音書、7章7節

 「求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。」

「主題」

「世界とともにワイズメン」
「100年を越えて変革しよう」
「変化をたのしもう！」
「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」
「再起動、新生もりおかクラブ」

国際会長 サム・サンテ (韓国)
アジア太平洋地域会長 大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮)
北東部長 南澤 一右
(仙台青葉城)
もりおか クラブ会長 長岡 正彦

会長 長岡 正彦
副会長 山口 貴伸
書記 濱塚 有史
会計 大関 靖二
担当主事 中村 渉 (チャン)
メネット 井上 優子

令和3年9月定例会
日時、場所 お休みします。
第二例会 お休みします。

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、何ということでしょう。新型コロナはデルタ株に置き変わり大都会を中心に猛威を振るっています。岩手県も過去に例が無い位の連日50人に迫る感染者がでてます。汚染拡大地域からの人の流入と、旅行が大きな原因です。

街を往来する人を見ると「この人はコ

ロじゃないのか？」という偏見を持って見るようになってます。人間として恥ずかしくなります。さらに、ブラジルで発生しているラムダ株というのもあるようです。ウィルスは取り付いた人間が死んでしまったら、自分たちも生きられないのになぜ強力になるのでしょうか。共生の道はないのかと思ってしまう。今はより確実なワクチンと、治療薬が求められず。それらが提供される前は自主自粛です。経済が停滞する中影響を受ける方々はお気の毒ですが、今こそ国債の大量発行で乗り切りたいものです。

盛岡YMCA「サマーキャンプ」

8月6、7日、初めて盛岡YMCAサマーキャンプに出席しました。濱塚メンから誘いを受けて、三田メンと3人で宮古国民休暇村キャンプ場です。前日からキャンプを張っていた子供たちと合流です。宮古市内で水中メガネとシュノーケルを買って、子供たちがいる浄土ヶ浜へ。ちなみにキャンプ会場はコロナの感染防止のため、気仙沼大島から、急遽宮古へ会場が変更になっ

てしまったのです。金曜日という事もあり、少ない海水浴客の浄土ヶ浜、20年ぶりに海に入りました。ゆっくり泳ぎながら海底を除いていると、カニ、ヤドカリ、魚、浄土ヶ浜は20年前と変わらぬ姿で迎えてくれました。ウニを発見、ムラサキウニとバフンウニです。3m潜ってウニを採取。発砲スチロールに入れて子供たちに見せました。看板の注意事項にウニ、アワビは貴重な資源であるため採取は禁止とありましたが、帰るときに放流すれば

問題ないと勝手に解釈して採ってしまいました。もちろん、引き上げる時には海に返しました。

夕方から、キャンプ場へ移動して、子供たちはお祭りの準備。裏方リーダーは夕食の準備です。このキャンプで一番印象に残ったのは裏方リーダーです。子供たちやリーダーたちが楽しく時間を過ごす中、裏方の「ゲンさん」とスタッフ数名は裏方の作業に徹し、夕食の準備です。スタッフが連続で、ゲンさんに指示を出します。「はいわかりました」応えるゲンさん。今やっている作業の後には数件の作業が貯まっています。中には作業を中止し終わったら中止した作業の再開。息つく間もありません。大苦戦したのは火おこし。燃料のまきは十分に乾燥していなかったのです。細く割らなければ燃えません。手に豆を作りながら、ナタを



振るっています。その時少し離れた巻き置き場で工夫を凝らしたまき割機とハンマーを発見。それまでの苦労が吹っ飛ぶ効率の良さで細く割れます、それまでの問題が解消。子供たちを巻き込んで、大量のまきをかまどへ供給しました。無事に夕食が終わり、出てきた星を眺めていました。夏の大三角「デネブ」「アルタイル」「ベガ」、織姫のベガと彦星のアルタイル

の間にはうっすらと天の川が浮かびあがり、なんとも幻想的な星空を見つめ、織姫と彦星のロマンスを思い浮かべていました。乙女チックですな。

最終日、昨日「うるさい」とクレームを受けて中止したお祭りを再開して最後に大盛り上がり。キャンプの行事は終了、帰途につきました。

8月のハッピーバースデー 8/29 井上メン 誕生日おめでとうございます。

旧友再開フォーエバーワイズ

こんにちは、もりおかの長岡です。芦屋クラブの定例会にズームで参加しました。芦屋の皆様数年ぶりに画面を通して再開

できました。なにか不思議な感覚で2時間の例会が終わりました。なにを隠そう、ズームミーティングに参加するのが今回初めてでした。うまくログインできるか、心配だったので数時間前にテストでログインしたところ、運転中の大岩さんが出てくれました。これで一安心、本番を迎えられます。もりおかクラブが発足した直後、芦屋クラブ様からDBCの申し入れがあり、井上会長は快く受けて初めてのDBC締結になりました。早すぎで、なんの事か、理解できないままの速攻DBCでした。



—10℃、真冬の盛岡や緑の風の季節、なかなか岩手山と出会えなかったり、震災被害の後を巡った時の柏原さんの大粒の涙など、いつでも一緒の時は記憶に残る出来事がありました。震災の年の甲子園、芦屋の皆様とアルプススタンドで応援したことが一番大きな思い出です。また、桐生祥秀が日本人で初めて10秒の壁を切り裂いた2017年、芦屋クラブ様の20周年例会に参加した後の、おしゃれな神戸の町並みも忘れられません。さらにジャズが町に溢れているのも驚きでした。きれいな大都会芦屋と、東北のいなか町盛岡、ワイズメンズクラブならではのBDCで

あると思います。離れていても心は繋がっている、そんな感覚に包まれています。これからもどうぞ、よろしくお付き合いくださいませ。

編集後記

今月も2ページブリテンです。サマーキャンプまではよかったのですが、その後のコロナ拡大で活動は自主自粛です。なぜ2年も経つのにコロナに打ち勝てないのでしょうか。最前線で戦う医療関係者、悲鳴を上げているのに、戦わない一般市民。少数の戦わない一般市民のせいで都会を中心に感染が止まりません。強い憤りを感じます。活動できないワイズメンズクラブなんて存在の意義を失いかけない大問題です。

ズームミーティングの事は知っていましたが、コンピューターの危険性が怖くて踏み出せませんでした。今回、芦屋クラブ様からのお誘いで、ズームミーティングにデビューしました。大きなテレ

ビ糸電話ですね。便利ですが年長者を中心に参加でない問題があります。個人的には好きではありません。コンピューター技術者のくせに、アナログ人とは。でも、そんな自分が結構好きです。「知り合うのは簡単さ、付き合うのが大変なんだよ」私の座右の銘です。ズームでは知り合えない、付き合いを深めるだけ、それも何かしら薄っぺらのような気がしていました。今回の芦屋クラブ様のズームはそんなことはなく、充実した2時間を過ごし私の考えも少しは変わって来たかもしれません。でも愛すべきはアナログのお年寄りですね。井上さんは、まだらデジタル、大関さんはピンポイントデジタル、基本はアナログ人間というところでしょうか。失礼しました。